

◆流されて…で全世界の注目を浴びた女流監督ウェルトミュラーが、愛と性の極限の世界をさらにフロー・アップ!

誘拐はバジリコの香り

◆リナ・ウェルトミュラー監督作品◆ *Summer Night*

流されて

マリアンジェラ・メラート
ミケーレ・ブラーチド
マッシモ・ウェルトミュラー
ロベルト・ヘルリツカ
監督/脚本:リナ・ウェルトミュラー
撮影:カーミット・パッツォーニ
音楽:ダンジョ&グレコ

ドレス:ヴァレンティノ/◆製作:ジャンニ・ミネルヴィーニ◆提供:俳優座シネマテン/配給:東映クラシックフィルム株式会社





流されて2



女は、支配階級の家業家。男は、その支配階級から金を巻き上げることを目的とする誘拐テロリスト。奪う者と、奪われる者の立場が逆転した時、男と女の倒錯した愛が始まった……。

1974年、「流されて……」文明から隔絶した無人島で、食物とセックスにより女を征服していくという衝撃的な愛の姿を描いて、全世界に一大センセーションを巻き起こしたリナ・ウェルトミューラーが、今度も8月の深い碧色をたたえた海を舞台に、男と女の愛と性の極限の世界を展開する。ウォレンティノ、フェラーリ、そしてイタリアのもう一つの「ハイ・ソサエティ」を代表するボルグ社——。それが女の持つ会社であった。そんな支配階級から誘拐という手口で金を巻き上げ、闇の世界で富を成す男を苦々しく思う彼女が、逆に男を誘拐し金を巻き上げようとするところから、ドラマは始まる。

しかし、男は捕えたものの、彼の持つ動物的なまでの荒々しさとバイタリシティ、そしてセクシーな肢体にひかれ、やがて男の支配のもとに自らを捧げ溺れていくまでのプロセスを、監督のウェルトミューラーは独特のアイロニーをもって描いていく。

特に、女に捕われた男が、逆に女を“捕えて”いくそのプロットが、前回の「流されて……」以上にセクシャルだ。自分が墮ちることを予期しながら、エキセントリックに罠を仕掛けていく女と、わざと罠にはまりながら次第次第に立場を逆転させていく男。実にノーブルな、大人同士のゲームといえるだろう。

そしてドラマは、彼らの愛への欲望と幻滅、葛藤を描きながら、その本質へと迫っていく。

主演は、前作「流されて……」でも誇り高いブルジョワ夫人を演じたマリアンジェラ・メラート。ウェルトミューラー作品に数多く出演する彼女ではあるが、ウェルトミューラー監督の作品に出演するのは、「流されて……」以来、

監督リナ・ウェルトミューラーのこと

1928年、ローマ生まれ。本名をアルカンジェラ・ウェルトミューレル・フォン・エルフといい、チューリヒの貴族と南イタリア人の血を引く。

ローマの演劇アカデミーを卒業後、ミュージカル・コメディの演出、シナリオ執筆に携わる。'62年、フェデリコ・フェリーニ監督の「8½」の助監督に就いたが、その完成を待たずに、翌年、「I Basilishi (とかげ)」で監督デビュー。これが商業的にも批評的にも成功し、国内外で多くの賞を獲得した。

'76年には、「セブン・ビューティーズ」を発表して、特にアメリカで熱狂的に歓迎され、名声を確立。その卓越した才能は「当代第一級の監督」(ニューヨーク・タイムズ)、「ベルイマン以来最も重要な監督」(映画評論家ジョン・シモン)と高く評価され、同じイタリアの女流監督リリアナ・カパーニ(『愛の嵐』)をはるかに上回る賞賛を受けている。

脚本家としても数多くの作品に協力しており、共同脚色者として名をつらねた作品には、「狼の挽歌」「カトマンズ

リナ・ウェルトミューラーは、どんな男よりも優れた監督だ

■作家
ヘンリー・ミラー

実に13年ぶり。再び、この名コンビが放つ愛の傑作となりそうだ。

そして、野性的な男の魅力を溢れさせて誘拐グループの首領を演じるのは、ミケーレ・ブラチド。その強烈で男性的なセックス・アピールにより、「流されて……」で人気を博したジャンカルロ・ジャンニーニ以上の人気を期待できるであろう。すでにベルリン映画祭主演男優賞を獲得するなど、本国では実力派として高い評価を得ている。

また、黒いアイパッチ、黒手袋の元スパイ、ツリーを演じるのは、ロベルト・ヘルリツカ。やはり、ウェルトミューラー作品の常連で、日本公開作には「セブン・ビューティーズ」がある。最近では、ニキータ・ミハルコフ監督の「黒い瞳」にも出演している。

そして、この映画で特筆しておきたいのは、主要人物からエキストラに至るまで、登場するすべての衣裳がヴァレンティノによるものであることだ。黒のロングドレス、赤のカウチン、海岸のサテンドレス、船上のドレス、ゴルフウェア……。マリアンジェラ・メラートが着る30着のドレスはもちろん、ガードマンたちのエレガントなスーツに至るまで、ヴァレンティノでまとめられており洗練されたイタリアン・カラーとデザインで美しく映像を彩っている。

ヴァレンティノとウェルトミューラーの友情関係は古くから続いており、互いがそれぞれの世界への尊敬と興味を持ったことから始まっている。今回は、エレガントなデザインと上品な趣味で世界に知られるヴァレンティノの商標が、ウェルトミューラーの映画と結びついた事で、メイド・イン・イタリアの威力はより強くアピールされることになった。

なお、夏の詩のようなイメージをスクリーンに現出させた撮影は、カーミット・パッツォーニである。

(1987年度作品/イタリア映画/カラー/1時間34分
翻訳・岡枝慎二)

の恋人」「ブラザー・サン、シスター・ムーン」などがある。

私生活では、彫刻家であり美術監督でもあるエンリコ・ヨープを夫とし、仕事と家庭を両立させる女性としても、イタリアでは名うての存在である。

〈主な作品〉「流されて……」(74)「セブン・ビューティーズ」(76)「女と路地と陰謀と」(85)

■スタッフ

監督……………リナ・ウェルトミューラー
製作総指揮……………ジノ・ミロツァ
製作……………ジャンニ・ミネルヴィーニ
撮影……………カーミット・パッツォーニ
美術……………エンリコ・ヨープ
編集……………ルイジ・ツィータ
音楽……………ダンジョ&グレコ
衣裳……………ジーノ・ベルジーコ
ドレス……………ヴァレンティノ

■キャスト

マダム……………マリアンジェラ・メラート
ヘッペ……………ミケーレ・ブラチド
ツリー……………ロベルト・ヘルリツカ
ミーキー……………マッシモ・ウェルトミューラー

(協力:株式会社アスミック)

近日ロードショー!

特別鑑賞券¥1200発売中(当日¥1500均一の処)

シネマスクエア
とうきゅう

新宿ミラ座横3F (232)9274

全自由席定員制 ● 入替制

※満席および上映中の入場はできません。

連日 12:30 2:40 4:50 7:00

●毎金・土曜はレイトショー実施 PM9:10より